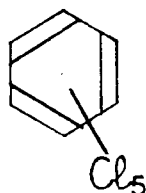


分 解 度 試 験 報 告 書

1. 試 料 名 ポリクロルベンゼン
 (ペンタクロルベンゼン)
 (試料 No K-11)

分 子 式 C_6HCl_5 分 子 量 250.34
 構 造 式



同 定 赤外分光光度計 (付図-5 参照)

性 状

外 観 白色結晶

沸 点 275 ~ 277 °C 融 点 86 °C

(共立出版：化学大辞典による)

純 度 99% 以上 (特級試薬使用)

溶 解 性

対水 120 ppb (TOC計による分析値)

対 n-ヘキサン, ベンゼン, クロロホルム 1% 以上

2. 試 験 期 間 昭和56年8月25日~昭和56年9月22日

3. 試 験 方 法 及 び 条 件

環 保 業 第 5 号
 薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
 49 基 局 第 392 号

3.1 試 験 条 件

(a) 生分解試験条件

(1) 微 生 物 源 : 標準活性汚泥 30 ppm

(2) 供試物質濃度 : 100 ppm

(3) 試 験 期 間 : 28 日間

(b) 試 験 装 置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

(c) 試料の採取

供試物質は固体のため天秤で30.0mg精秤し各培養ビンに

添加した

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	試料は溶解せず水面に浮いていた。	—
途 中	試料は溶解せず培養ビンの底に沈んでいた。	—
終 了 時	試料は溶解せず培養ビンの底に沈んでいた。	—

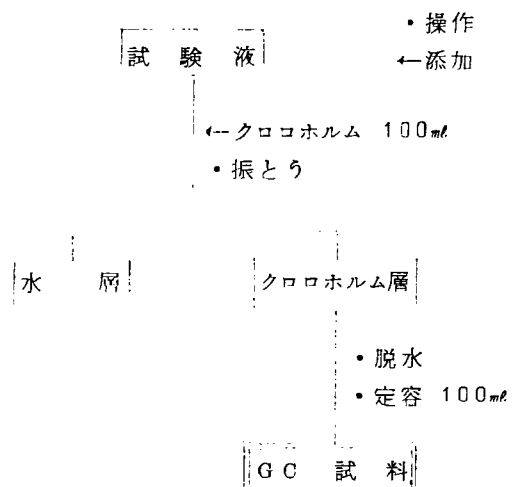
3.2 直接定量分析

(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式 日立 163
検 出 器 FID
カ ラ ム 3 mm ϕ \times 1 m ガラス
固 定 相
液 相 5% OV-225
担 体 クロモソルブW
カラム温度 130 $^{\circ}$ C
キャリアガス N_2

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	
GC による結果	0	2	1

7 日目のアニリンの分解度 74 %

以 上

図-1

No.

Date 8/25 ~ 9/22 1981

Test Temp. 25 °C

Model Coulometer No.

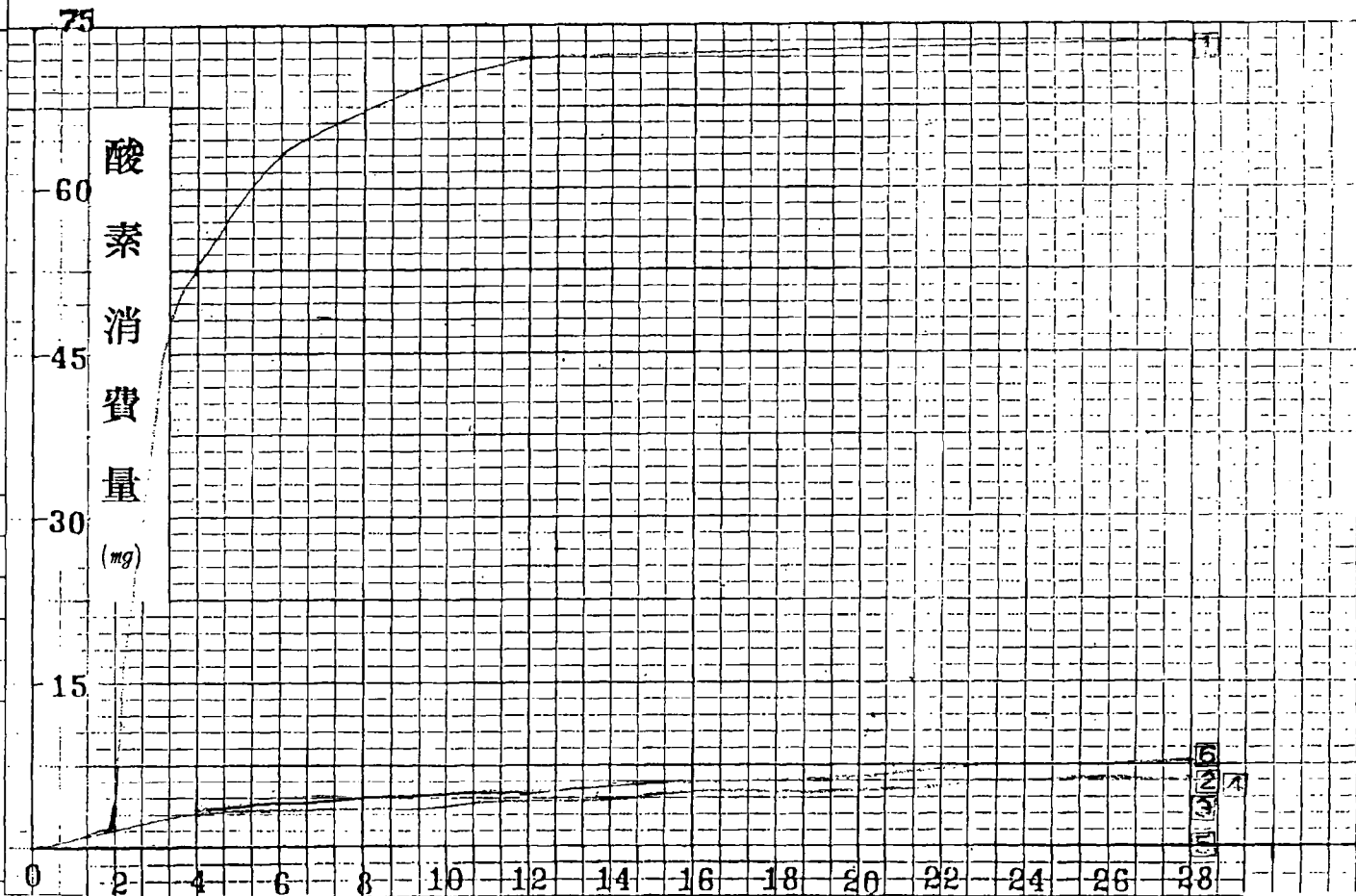
Range 250 ppm × 1

Chart Speed 2 mm/h

Sample	Sludge (ppm)
1 アニリン (100 ppm)	30
2 汚泥+試料 (100 ppm)	30
3 汚泥+試料 (100 ppm)	30
4 汚泥+試料 (100 ppm)	30
5 水+試料 (100 ppm)	—
6 基礎呼吸 (— ppm)	30

Note: K-11 アンタクロルアンセン

Operator XXXXXXXXXX



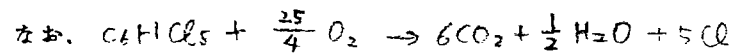
(財) 化学製品検査協会 化学品安全センター

$$\text{分解度} = \frac{\text{BOD} - \text{B}}{\text{TOD}} \times 100 = \frac{-15}{24.0} \times 100 \Rightarrow 0\%$$

ただし

$$\text{BOD} - \text{B} = \frac{[2] + [3] + [4]}{3} - [6] = \frac{6.5 \text{ mg} + 6.5 \text{ mg} + 6.5 \text{ mg}}{3} - 8.0 \text{ mg} = -1.5$$

$$\text{TOD} = 30.0 \times 0.80 = 24.0$$



$$\frac{\frac{25}{4} \text{O}_2}{\text{C}_6\text{H}_5\text{Cl}} = \frac{200}{250.34} = 0.80$$

7日目のアニリンの分解度 74 %